

歩んだ3年間の軌跡

平成31年3月から本町の地域おこし協力隊として活動していた小野孝弘さん（内野）。2月28日（月）で3年間の任期を終え、新たな一歩を踏み出しました。

つなぎFARMプロジェクト担当として、自然栽培農産物の生産拡大、販路拡大の2つに取り組みできました。生産拡大では、試験栽培をしながら自然栽培の農業に挑戦。その作業をワークショップという形で参加者を募り、体験しながら津奈木の自然風土にふれ、近所の皆さんと交流し、自然栽培米を味わってもらうことでつなぎFARMの取り組みの趣旨を発信してきました。

販路拡大では、移動販売車を製作。農産物を預かり各種イベントで販売しながらつなぎFARMの取り組みを伝えました。

新型コロナウイルスがまん延してからは中々熊本市内までの販売ができなくなっていました。その代わりに、

つなぎFARMオーガニックマルシェを企画し、これまでに6回開催。本町の生産者が他地区のイベントに出店いただいています。その繋ぎ役として活動できたと思います。

また、私が作った自然栽培のお米、本町の生産者の野菜を使って「あんしんまんま」という離乳食を作り、販売しました。

一番の成果は、私の取り組みがきっかけで本町を知ってもらい、その繋がりの中で、津奈木に移住しようとして、地域おこし協力隊に応募や活動する人が増えてきたことです。もつとつなぎFARMを知ってもらい、自然栽培を取り組みたい人が本町に移住する仕組みを作り、生産者が増えるという形を作れたかったです。

着任時には思い描いていた成果には届かず、関わっていただいた人の期待に応えられないこと、裏切ってしまったことが数多くありました。自分の力不足であり、協力隊の制度に甘えてしまった結果だと思っています。

退任後は、古中尾地区に農地を4反ほどお借りすることができました。その農地で米作りの技術、加工品のブラッシュアップ、販売能力を上げて独り立ちできるように励んでいきます。後任のつなぎFARM担当の協力隊ともイベント企画運営などで連携し、プロジェクトが広がっていくよう取り組み続けます。

3年間本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

町の紹介

緑と彫刻のある町 熊本県津奈木町

津奈木町は熊本県南部に位置し、南は水俣市、東は芦北町に隣接し、西は不知火海を隔てて天草諸島と対峙しています。東西6.5km、南北9kmで総面積は34.08km²。総面積の約6割が山林地帯であり、地勢も壮麗期の安山岩山系に三方を囲まれ、西向き急傾斜に開けたリアス海岸は美しく、芦北海岸県立自然公園の指定を受け、海深く良港に富んでいます。



町章



町の木「すぎ」



町の鳥「やまどり」



町の花「つわぶき」

02 【フォトレポート】 お遊戯会・学習発表会

04 目次／地域おこし協力隊 小野孝弘さん退任のあいさつ

06 まちのわだい
新春の集い親子たこ揚げ大会／農産品等贈呈事業／津奈木保育園豆まき／つなぎ地魚フェア／つなぎっ子チャレンジマラソン

07 津奈木町の情報発信

08 INFORMATION+
公共施設除草作業員募集／粗大ごみの休日特別受け入れ／死亡後の年金手続き／住宅用太陽光発電システム設置費補助金／障がい者手当制度／手話奉仕員養成講座／令和4年度児童扶養手当／令和4年度津奈木町奨学生／津奈木町運動公園等業務委託／高齢者のための体力測定会／町内イベントの中止／令和4年度軽自動車税の税額をお知らせします

12 暮らしの情報
若者サポートステーションやつしろ出張相談会／3/1~7は春季全国火災予防運動／「くま活サポート」登録者募集／水俣市立総合医療センター停電作業／第38回全国都市緑化くまもとフェア／女性のための女性司法書士による無料相談会／飼い犬には狂犬病予防注射／「ふるさとの川をきれいにしたい！」を応援／ご利用ください病児・病後児保育／家族介護者教室・交流会／つなぎ温泉四季彩・つなぎ百貨堂

14 和のひろば／図書館から新刊情報／休日当番医／乳幼児健診の案内／人のうごき／寄附・芳志お礼／近隣自治体のイベント情報

16 つなぎ美術館情報

今月の表紙

2月8日（火）・10日（休）、津奈木保育園お遊戯会のビデオ収録がつなぎ文化センターで開かれ、園児は和太鼓やダンス、劇などを披露。新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置のため、中止となりましたが、園児たちはDVDで保護者に見てもらうために、一生懸命頑張っていました。（詳しくは2~3頁）



津奈木の農業だから
できることを突き詰めて—

つなぎ FARM 推進業務
小野 孝弘 さん(36 =内野)